

- 一般介護予防事業は、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。
- 要介護状態になっても生きがい、役割をもって生活できる地域を構築することにより、要介護状態等となることの予防など介護予防を推進することを目的とする。

| | 自主活動型 | 居場所づくり型 | 地域拠点型 |
|------|------------------------|------------------------|------------------------------------|
| 頻度 | 月1回程度 | 原則月2回以上の 通年開催、2時間以上 | 週1回、5時間程度 |
| 事業主体 | 住民主体のグループ | NPO法人又は任意団体 | NPO法人等 |
| 対象者 | すべての高齢者 | | |
| 実施内容 | 通いの場（サロン、カフェ、体操サークルなど） | | |
| 支援内容 | あんしんすこやかセンターにて紹介 | 補助 | 市が設定した 介護予防の取組等 委託 専門職を派遣 |

あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、区、市が
一体となり、住民主体の取り組みの立ち上げ、運営支援を行う

地域拠点型一般介護予防事業（旧：生きがい対応型デザイナーサービス）

内容

神戸市独自のデザイナーサービス
小学校区に1か所を目指し、地域福祉センター等で、
週1回、1日5時間程度開催
平成29年から、介護予防強化メニューを実施

日常動作
訓練

趣味
活動

給食



介護予防
強化メニュー

創設経緯

平成12年の介護保険開始と同時に地域福祉活動のため創出

平成12年～ 「介護予防・地域支え合い事業」（国庫補助事業）
平成18年～ 「介護予防事業」（介護保険 地域支援事業）
平成29年～ 「一般介護予防事業」（介護保険 地域支援事業）

対象者

65歳以上の介護予防の取組みが必要な高齢者を対象

目的

この事業は、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域に根ざしたつどいの場で介護予防に資する活動を実施する。
高齢者の生きがいづくりや介護予防を促進し、自立した生活を助長するとともに社会参加につなげることを目的とし、高齢者が互いに支え合う地域づくりを目指す。

実施団体

以下の要件を満たす地域のNPO法人及び地域団体等に委託

- (1) 地域において福祉事業や地域活動の実績があること
- (2) 概ね1小学校区を対象に活動すること

利用者参加 申し込み

高齢者がお住まいの近くのあんしんすこやかセンター
(登録制)

平成29年8月現在 約100ヶ所で実施中



エビデンスに基づく介護予防の実施

専門職を派遣し効果の高い介護予防強化メニューの設定

- ・介護予防講座 (運動・栄養・口腔・薬など)
- ・体力測定の実施 (フレイルチェック項目の活用) ⇒効果検証への協力

・体操、脳トレニング、口腔体操

・介護予防手帳やICTの活用

現行メニュー



等

日常生活
作訓練

趣味活動

給食

専門職団体からの
派遣の
仕組みを構築

(参考)フレイルチェック
65歳に対して、特定健診
とともに、フレイル予防
のための質問紙や握
力、立ち上がりなどの測
定を行う。

地域性を生かした取り組みを推進

- ◆地域拠点型の介護予防事業として、地域福祉センター等、小学校区毎に1ヶ所実施（目標）

地域交流

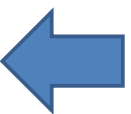


異世代交流



日頃からのつながり

地域に根ざした活動を展開

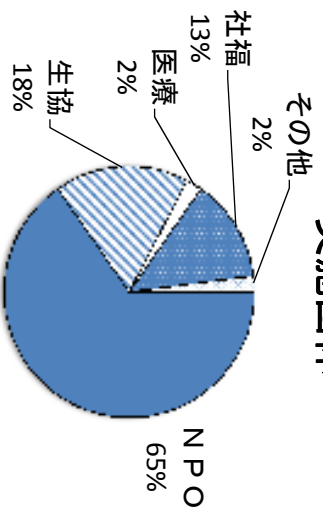


（目標）

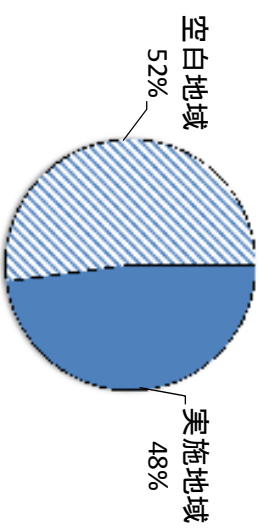
79地域⇒全小学校165ヶ所を目指す

実施状況

実施団体



空白地域割合



空白地域率

